

平成25(2013)年度 Syllabus (講義概要・授業計画) 用紙

科目名	里山学	サブタイトル	
対象学部	経営学部,経済学部,文学部,法学部,政策学部		
開講曜講時	前期 月3	配当年次	1年次～4年次
開講キャンパス	深草	担当者(カナ氏名)	ヨシヒロ シンイチ
単位	2	担当者(漢字氏名)	好廣 眞一 (全9名)
備考	3回生以上予備登録必要科目 受講対象:2007年度以降入学生		

講義計画

No.	回数	担当者	学修内容	キーワード
1	1回目	丸山 徳次	里山の環境倫理～里山学のすすめ～ 丸山徳次(哲学・倫理学 文学部)	
2	2回目	谷垣 岳人	昆虫にとって里山とは何か 谷垣岳人 (生態学 政策学部)	
3	3回目	好廣 眞一	魚のゆりかご水田の取り組み 金尾滋史(琵琶湖博物館)	
4	4回目	土屋 和三	日本の植生/「龍谷の森」の里山/ 比叡山の奥山の原生的植生のモミ・ブナ林 土屋和三(植物生態地理学 文学部)	
5	5回目	山中 勝次	京の里山はどのように利用されてきたか? 山中勝次(菌学 京都菌類研究所長)	
6	6回目	土屋 和三	京都モデルフォレスト運動に学ぶ 今井英行(京都府モデルフォレスト推 進課)	
7	7回目	衣浦 晴生	ナラ枯れとカシノナガキクイムシ 衣浦晴生(森林総合研究所)	
8	8回目	土屋 和三	特別講義「北山林業600年の伝統美」 中田治(中原株式会社取締役)	
9	9回目	谷垣 岳人	里山の民族生物学 阪本寧男(民族植物学 京都大学名 誉教授)	
10	10回目	土屋 和三	自然が育む環境人(かんきょうびと)づくり～大津市の自然体験型環境教育 の実践と行動化～ 山本等(大津市役所 環境政策課)	
11	11回目	牛尾 洋也	里山の景観と国土保全機能について 牛尾洋也(民法 法学部)	
12	12回目	土屋 和三	里山がうみだした文化と芸術 江南和幸(金属学 理工学部名誉教授)	
13	13回目	龍口 明生	仏教と森(アランニャ)とのかかわり 龍口明生(仏教学 文学部名誉教授)	
14	14回目	好廣 眞一	センサーカメラで調べた「龍谷の森」の生き物たち～2つの小池を作って何 が変わったか?～ 好廣眞一(霊長類学 経営学部)	
15	15回目	高桑 進	炭の新しい活用法 高桑進(京都女子大学名誉教授)	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				